

JCHO群馬中央病院で診療を受けられる皆さま

2025 年 11 月 4 日

当院の診療で得られた試料・情報を利用して下記の研究を実施いたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない方は、下記の問合せ先にご連絡下さい。患者さまの情報を利用または他機関へ提供しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時にすでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。

また、情報の利用を希望されない場合でも、今後の治療などに影響することはありません。この研究に関してご質問等ございましたら下記連絡先までご連絡ください。

この研究は JCHO 群馬中央病院倫理審査委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

① 研究計画名	膝前十字靱帯再建術後の移植腱損傷および対側受傷のリスク因子の検討			
② 研究責任者	氏名	岡田和也	所属	整形外科
③ 研究の目的・意義	膝前十字靱帯（ACL）損傷にするACL再建術は膝の機能を改善し、関節内損傷の発症を防ぐとされています。しかしながら、ACL再建術後の移植腱損傷、および対側受傷は約15%の確率で発生するとされており、そのリスク因子についてはまだ一定の見解が得られておりません。今回の研究では、ACL損傷患者様において、ACL再建術後に移植腱損傷、および対側受傷が発生するリスク因子について調査することが目的です。この研究により、ACL損傷膝に対する、追加の補強手術を検討すべきかの明確な指標を患者さまに提供するための有益な情報が得られると考えます。			
④ 研究期間	2015 年 4 月～2027 年 3 月 31 日			
⑤ 対象となる患者さま	2015 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日の期間に当院で膝前十字靱帯損傷の診断で手術を受けた患者さま			
⑥利用する情報	電子カルテより以下の情報を利用（提供）します。 【生年月、年齢、性別、既往歴、合併症、身長、体重、レントゲン・MRI 所見、内外側半月板損傷の有無、内側側副靱帯損傷の有無、個人識別符号、手術記録、理学的所見、術前後の活動レベル】			
⑥ 利用する者の範囲	上記の試料・情報は、群馬中央病院にて研究責任者と研究分担者が利用し、その他の機関への提供はする事はありません。			
⑧情報の管理	使用する情報は、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報の匿名化、情報の保管に関しては研究責任者が責任を持って厳重に管理いたします。 また、研究の成果は学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、その際にも個人を特定することのできる情報が公表されることはありません。			
⑨研究対象者、又はその代理人の方からの相談等への対応窓口	対応者氏名	岡田和也	所属	整形外科
	TEL	027-221-8165（代表）		